

2024年4月17日

CO₂回収装置の適用可能な原料 CO₂濃度範囲を拡大 幅広いお客様へ脱炭素ソリューションが提供可能に

日本酸素ホールディングスグループの日本産業ガス事業会社である大陽日酸株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：永田 研二）は、2023年4月に販売を開始した、「10ton/日規模 二酸化炭素（CO₂）回収装置」の適用可能な原料 CO₂濃度範囲を拡大し、幅広い CO₂排出源からの CO₂回収を可能にいたしました。



小規模 CO₂回収装置（外観）

開発の背景

2050年カーボンニュートラルを目標とする世界的なトレンドを背景として、お客様の脱炭素をサポートすべく、当社は2023年4月に10トン/日規模のCO₂回収装置を販売開始いたしました。販売開始後、多くのお客様からお問合せをいただく中で、CO₂回収装置の仕様範囲（原料 CO₂濃度 20～40%）外の排出源から CO₂を回収したいというご要望も多くいただいております。当社はそのようなお客様からのご要望に対応するため、これまで培ってきたガス分離精製技術を活かし、原料 CO₂濃度が高濃度（最大 60%）でも回収ができるよう、適用可能な原料 CO₂濃度範囲を拡大いたしました。これにより、従来に比べて幅広い CO₂排出源からの回収が可能となり、より多くのお客さまに対して脱炭素ソリューションを提供できるようになります。

CO₂回収装置仕様例

回収 CO ₂ 量	約 10 トン/日
回収 CO ₂ 濃度	98%
原料 CO ₂ 濃度	20%~60%
装置寸法	14.5×5.35×2.75 m

また、原料 CO₂ 濃度が低濃度 (20%未満) である排出源からの回収についても、現在、CO₂ 回収装置の適用を可能にすべく鋭意技術開発に取り組んでおります。当社は適用範囲を拡大した CO₂ 回収装置を様々なお客様に販売することを通じて、これからもカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

【会社概要】

大陽日酸株式会社

事業内容：酸素・窒素・アルゴン等各種産業ガス、LP ガス、医療用ガス、特殊ガスの製造・販売及び溶断機器・材料、各種ガス関連機器、空気分離装置の製造・販売、電子部品の組立・加工・検査、設備メンテナンス

創業：1910 年 10 月 30 日

設立：2020 年 2 月 4 日

資本金：15 億円

売上収益：4,204 億円※

※日本酸素ホールディングス㈱2023 年 3 月期の日本ガス事業セグメントの売上収益

本件に関するお問い合わせ
大陽日酸株式会社
東京都品川区小山 1-3-26
広報部
TEL:03-5788-8015
Mail:Tnsc.Info@tn-sanso.co.jp